

# 日本野外フェスティバル 新年表

フジロックをはじめ、現在行われている日本の代表的な野外フェスティバルはいつ誕生したのか。  
音楽史に残っている70~80年代の「野外コンサート」も広義としてとらえ、その移り変わりをみてみよう。

年代	主な出来事	日本の野外フェスティバルの移り変わり	海外の代表的フェス
1965	ベトナム戦争勃発 フラワームーブメント		
1970	ビートルズ解散 ジミ・ヘンドリ克斯、ジャニス・ジョブリン死去	1969 全日本フォークジャンボリー 米国ウッドストックよりも1週間早く、反商業主義のロック フェスが日本初で誕生。若者たちが数ヵ月に渡って岐阜の野原にステージを作りし、高田渡はびひどん、ジャックスら当時人気だったフォーク、ロックアーティストが多数参加	1969 ワッドストック・フェスティバル 米国ニューヨーク州にて開催。当初は有料で計画されたが、予想を上回る来場者が管理不能となり、事実上のフリー・コ・サートに。40万人を動員した一度限りの伝説のイベント
1975	ベトナム戦争終結 アップルコンピュータ設立	1970 グラストンベリー・フェスティバル 英國セマセット州ワーウィック・アーヴィングにて開催。アーティストたちが様々なナンタメを楽しめる	
1980	タワーレコード日本1号店 CD登場 SMASH設立	1971 日比谷ロック・フェスティバル JR(当時は国鉄)の最低運賃が30円だった時代	1970 グラストンベリー・フェスティバル 英國セマセット州ワーウィック・アーヴィングにて開催。アーティストたちが様々なナンタメを楽しめる
1985	ベルリンの壁崩壊	1971 春一番 福岡風太、阿部登らが中心となって関西を中心としたユージシャンを集め、大阪の天王寺公園野外音楽堂でスタート	1971 春一番 福岡風太、阿部登らが中心となって関西を中心としたユージシャンを集め、大阪の天王寺公園野外音楽堂でスタート
1990	湾岸戦争勃発 尾崎豊急死 カート・コバーン急死 インターネット普及	1972 湘南江の島ヨットハーバーで開催。ビーチ・ボーイズ、ハート、ファイヤーフォール、TKOが出演。前座で登場したのはザザンオーラルスターだった	1972 湘南江の島ヨットハーバーで開催。ビーチ・ボーイズ、ハート、ファイヤーフォール、TKOが出演。前座で登場したのはザザンオーラルスターだった
1995		1973 ニュー・ロック・ジャム・コンサート 日比谷野外音楽堂で開催。入場料が10円だったことが記録。バンドや所属会社を超えて、ロック啓蒙を目的とした総決起集会的なイベントとなった	1973 ニュー・ロック・ジャム・コンサート 日比谷野外音楽堂で開催。入場料が10円だったことが記録。バンドや所属会社を超えて、ロック啓蒙を目的とした総決起集会的なイベントとなった
2000	アメリカ同時多発テロ iTunes Store開始	1974 ワンステップ・フェスティバル 日本各地のお祭りと一緒に組め、そのひとつとしてロックライブが交差する所として日本の音楽史のなかで大きな役割を果たした	1974 ワンステップ・フェスティバル 日本各地のお祭りと一緒に組め、そのひとつとしてロックライブが交差する所として日本の音楽史のなかで大きな役割を果たした
2005	レイ・チャールズ死去 YouTube開始	1975 ジャパン・ジャム・コンサート 日比谷野外音楽堂で開催。主催者は元フィンガーズのギタリスト成毛滋。バンドや所属会社を超えて、ロックを骨折るも、ステージに這いつぶりながら「Scrambling Rock'n'Roll」を最後まで歌い続けたという「ローフーム」が有名	1975 ジャパン・ジャム・コンサート 日比谷野外音楽堂で開催。主催者は元フィンガーズのギタリスト成毛滋。バンドや所属会社を超えて、ロックを骨折るも、ステージに這いつぶりながら「Scrambling Rock'n'Roll」を最後まで歌い続けたという「ローフーム」が有名
2009	iPhone初代モデル日本発売 Spotify開始	1976 ホットフィールド 富山県東部で開催。会場は小高い丘になりおり、広く富山湾から能登半島を望めるロケーション	1976 ホットフィールド 富山県東部で開催。会場は小高い丘になりおり、広く富山湾から能登半島を望めるロケーション
2010		1977 ピートチャイルド 熊本県阿蘇で行われた、当時日本初のオールナイト・ロック・フェスティバル。ザ・ブルーハーツ、レッド・ウォーリアーズ、岡村靖幸、ハンド・ドッグ、BOOWY、ザ・ストリート、スライダーズ、尾崎豊、渡辺美里、佐野元春などが出演した	1977 ピートチャイルド 熊本県阿蘇で行われた、当時日本初のオールナイト・ロック・フェスティバル。ザ・ブルーハーツ、レッド・ウォーリアーズ、岡村靖幸、ハンド・ドッグ、BOOWY、ザ・ストリート、スライダーズ、尾崎豊、渡辺美里、佐野元春などが出演した
2011		1978 いのちの祭り 「No Nukes One Love」をテーマに掲げ、その後にNHKで特番が放送された	1978 いのちの祭り 「No Nukes One Love」をテーマに掲げ、その後にNHKで特番が放送された
2012		1979 レインボーフェスティバル 千葉と大阪で同時に開催される都市型ロック・フェスティバル。当初は洋楽のロックを中心としていたが、現在は多ジャンルが楽しめるイベント	1979 レインボーフェスティバル 千葉と大阪で同時に開催される都市型ロック・フェスティバル。当初は洋楽のロックを中心としていたが、現在は多ジャンルが楽しめるイベント
2013		1980 ライジングサンロックフェスティバル ジャカルタのライブが行なわれる北海道最大のフェス。土曜はオールナイトで日曜の日の出(Rising Sun)を迎える	1980 ライジングサンロックフェスティバル ジャカルタのライブが行なわれる北海道最大のフェス。土曜はオールナイトで日曜の日の出(Rising Sun)を迎える
2014		1981 ロックンロール・オリンピック 仙台市の音楽事務所が主催し、所属するハウンド・ドッグの大友康平が、スポンサーとして参画。RCAサクセションの3組が登場した	1981 ロックンロール・オリンピック 仙台市の音楽事務所が主催し、所属するハウンド・ドッグの大友康平が、スポンサーとして参画。RCAサクセションの3組が登場した
2015		1982 スイート・ラブ・シャワー 音楽専門チャンネル「スペースシャワー」が開設	1982 スイート・ラブ・シャワー 音楽専門チャンネル「スペースシャワー」が開設
2016		1983 セットストック 中国地方最大のロックフェス、香川県で開催	1983 セットストック 中国地方最大のロックフェス、香川県で開催
2017		1984 アトミック・カフェ・フェスティバル 映画「アトミック・カブ」の上映運動に由来するフェスティバルで、「音楽を通じて反核・脱原発を訴えよう」がテーマ。加藤登紀子、浜田省吾、宇崎竜童、尾崎豊、ザ・ブルーハーツ、ザ・ルースターーズ、S-ONE、BOOWYらが出演した。2011年にフジロック内で復活	1984 アトミック・カフェ・フェスティバル 映画「アトミック・カブ」の上映運動に由来するフェスティバルで、「音楽を通じて反核・脱原発を訴えよう」がテーマ。加藤登紀子、浜田省吾、宇崎竜童、尾崎豊、ザ・ブルーハーツ、ザ・ルースターーズ、S-ONE、BOOWYらが出演した。2011年にフジロック内で復活
2018		1985 レゲエ・ジャバーンスマッシュ エカウーの広大な農場にて毎年6月に開催される巨大フェスとして知られる	1985 レゲエ・ジャバーンスマッシュ エカウーの広大な農場にて毎年6月に開催される巨大フェスとして知られる
2019		1986 バーニングマン 米国ネバダ州で毎年8月下旬~9月初めに開催される、ユニークで規模の大きな祭典。何もない砂漠の真ん中に「ラックロック・シティ」という町が築き上げられ、貨幣経済を排除した物々交換や贈与文化が基本となる	1986 バーニングマン 米国ネバダ州で毎年8月下旬~9月初めに開催される、ユニークで規模の大きな祭典。何もない砂漠の真ん中に「ラックロック・シティ」という町が築き上げられ、貨幣経済を排除した物々交換や贈与文化が基本となる
2020		1987 ハト・ジャム オーランドの砂漠地帯で開催されるのが「ハト・ジャム・オーランド」。ハート・ミーティング・アンド・アーツ・フェスティバル。ハンド・フォーム時代を代表するイベントとなった	1987 ハト・ジャム オーランドの砂漠地帯で開催されるのが「ハト・ジャム・オーランド」。ハート・ミーティング・アンド・アーツ・フェスティバル。ハンド・フォーム時代を代表するイベントとなった
2021		1988 アラバキロックフェス 毎年4月の週末3日間、2週連続で米国カリフォルニア州の砂漠地帯で開催されるのが「アラバキロックフェス」。何もない砂漠の中に「ラックロック・シティ」という町が築き上げられ、貨幣経済を排除した物々交換や贈与文化が基本となる	1988 アラバキロックフェス 毎年4月の週末3日間、2週連続で米国カリフォルニア州の砂漠地帯で開催されるのが「アラバキロックフェス」。何もない砂漠の中に「ラックロック・シティ」という町が築き上げられ、貨幣経済を排除した物々交換や贈与文化が基本となる
2022		1989 コーチエリ・バー・ミュージック・アンド・アーツ・フェスティバル 毎年8月下旬~9月初めに開催される、ユニークで規模の大きな祭典。何もない砂漠の真ん中に「ラックロック・シティ」という町が築き上げられ、貨幣経済を排除した物々交換や贈与文化が基本となる	1989 コーチエリ・バー・ミュージック・アンド・アーツ・フェスティバル 毎年8月下旬~9月初めに開催される、ユニークで規模の大きな祭典。何もない砂漠の真ん中に「ラックロック・シティ」という町が築き上げられ、貨幣経済を排除した物々交換や贈与文化が基本となる
2023		2000 モンスター・バッシュ 四国初のロックフェス、香川県で開催	2000 モンスター・バッシュ 四国初のロックフェス、香川県で開催
2024		2001 アラバキロックフェス 今年25周年を迎える東北最大級のロックフェス。ステージ名は東北の地名「陸奥」や「津軽」「磐梯」など	2001 アラバキロックフェス 今年25周年を迎える東北最大級のロックフェス。ステージ名は東北の地名「陸奥」や「津軽」「磐梯」など
2025		2002 ウエダジョイント 長野県上田市で開催されたフリーフェスの走りともいえるイベント。街のシンボルでもある上田城跡公園を会場に開催	2002 ウエダジョイント 長野県上田市で開催されたフリーフェスの走りともいえるイベント。街のシンボルでもある上田城跡公園を会場に開催
2026		2003 気志園万博 関西を代表する大規模ロックフェス	2003 気志園万博 関西を代表する大規模ロックフェス
2027		2004 ラッシュ・ボール OAUが発起人となってスタートしたキャバ・イン・フェス。全アーティストがアーバングレイハウンドでライブを行う	2004 ラッシュ・ボール OAUが発起人となってスタートしたキャバ・イン・フェス。全アーティストがアーバングレイハウンドでライブを行う
2028		2005 ボナルー・ミュージック・アンド・アーツ・フェスティバル 小林武史、櫻井和寿(ミスチル)らを中心とした	2005 ボナルー・ミュージック・アンド・アーツ・フェスティバル 小林武史、櫻井和寿(ミスチル)らを中心とした
2029		2006 ap bank fes Bank Bandがあべくを務め、各アーティストとライブを行なうスタイル	2006 ap bank fes Bank Bandがあべくを務め、各アーティストとライブを行なうスタイル
2030		2007 ニューオーリンズ・ロック・アンド・ブルース・フェスティバル オーランドにて開催される音楽と芸術の祭典	2007 ニューオーリンズ・ロック・アンド・ブルース・フェスティバル オーランドにて開催される音楽と芸術の祭典

収益はすべて融資機関であるap bankを通じて、環境保護や自然エネルギー促進事業などの分野において活動するNGOなどに融資

Bank Bandがあべくを務め、各アーティストとライブを行なうスタイル

小林武史、櫻井和寿(ミスチル)らを中心とした

Bank Bandがあべくを務め、各アーティストとライブを行なうスタイル

オーランドにて開催される音楽と芸術の祭典

オーランドにて開催される音楽と芸術の祭典

ふかん  
半世紀にわたる日本の野外フェスティバルの流れを俯瞰する

アメリカでウッドストックが開催された同年となる1969年、日本の野外フェスティバルを語る上で重要な「全日本フォークジャンボリー（中津川フォークジャンボリー）」が岐阜県で産声を上げた。フォークソングや反戦思想を融合させたこのフェスは、若者にとって社会的なメッセージを共有する場となり、音楽と政治が交わる重要なイベントとなった。しかし、アーティストやロック好きの学生们が自主的に開催していたため、70年代を迎えるころには継続的な運営は困難となっていました。

その後、90年代後半から2000年代前半にかけてフェスの成長期が訪れる。とくにSMASH主催で始まったフジロック

フェスティバルは、1997年の初回こそ台風直撃で失敗と言われたが、その後新潟県・苗場スキー場に会場を移し成功を重ねたことで、大型野外ロックフェスティバルとしての存在を不動のものとしていく。どのフェスよりも音楽の多様性や環境への配慮を重視し、音楽と自然の共生をテーマにしたスタイルを確立したのがフジロックだった。

2005年から2015年にかけての10年間は、言わば“フェス成熟期”とも言えるだろう。2000年にスタートしていたサマーソニックやロック・イン・ジャパン（ロッキン）などの都市型フェスが盛況を見せたほか、キャンプを主体としたフェスや、

地域の魅力にフォーカスした小～中規模クラスの個性的なイベントが次々と開催。ファッション業界やメディア発の野外フェスも話題となった。

そして2020年以降、コロナ禍によって多くのフェスが開催の危機に直面したことは記憶に新しい。大規模な集まりが制限され、大半のフェスが中止を余儀なくされた。しかし、その逆境においても開催をいち早く実現したフジロックが牽引役となり、多くのイベントが開催を継続。音楽の多様性やサステナビリティ、コミュニティ意識の大切さが改めて見直される中、今年も全国各地で多彩なフェスが開催される予定だ。

Text by Tomoko Fukutaki